

バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No.72



2016 年 11 月

NPO 法人 日本バスケットボール振興会



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
世界に類のない、ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして
常に完璧な製品づくりを目指しています。



目 次

○ 秋の講演会・交流会開催・・・・・・・・・・・・・・・・	2
リオ・オリンピックヘッドコーチ 内海知秀氏 講演	
交流会も賑やかに	
○ 女子オリンピックが語るオリンピック（その2）・・・・・・・・歴史部・・・・・・・・	1 1
○ 関東ゴールデンシニアバスケットボール連盟・・・・・・・・・・諸山文彦 ・・・・・	1 4
設立・現状と今後の取り組み方	
○ W J B L 斉藤会長を訪ねて ・・・・・・・・・・・・・・・・	2 1
○ 会員だより	
バスケットボール湘南だより（その16）・・・・・・・・中瀬達雄 ・・・・・	2 4
尾張名古屋に4校リーグあり（その1）・・・・・・・・三谷千尋 ・・・・・	2 6
○ Bリーグ開幕 ・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
○ Wリーグ中間成績 ・・・・・・・・・・・・・・・・	3 4
○ 12月21日はバスケットボールの日 ・・・・・・・・・・・・・・・・	3 6
○ 環境省ひと涼みアワード2016 ・・・・・・・・・・総務部・・・・・・・・	3 7
優秀声かけ賞 高齢者部門 受賞	
○ 事務局だより ・・・・・・・・・・・・・・・・	3 8
○ プラザ こぼればなし ・・・・・・・・・・・・・・・・	3 9

秋季講演会・交流会開催

リオ・オリンピックヘッドコーチ 内海知秀氏 講演

[編集部]

恒例となった講演会と交流会は、11月8日東京お茶の水の池坊東京会館で開催された。講師にはリオ・オリンピック女子日本代表チーム・ヘッドコーチ内海知秀氏を迎え、多数の会員と聴講を希望するバスケットボール関係者やマスコミ関係者で会場は満席状態。

リオ・オリンピックにおける女子日本代表の戦いについては、既にご承知のことと思うが、講師の内海さんは、そこに至る準備とプロセス、そして代表チーム強化についてもお話いただき、最後にそれらをまとめ上げた動画がプロジェクターに映し出されたときは、会場はしばし感動の静けさと、ため息がもたらされた。



講演会場風景

内海知秀氏プロフィール



- 1958年 青森県出身 58歳
- 1977年 秋田県能代工業高校卒業～日体大入学
- 1981年 日体大卒業後実業団の名門 日本鉱業へ入社、日本リーグで活躍すると同時に全日本代表チームのポイントガードとして活躍
- 1988年 札幌大学コーチ就任
- 2002年 ジャパンエナジー（現JX-Eneos）ヘッドコーチ就任
- 2004年 女子日本代表チーム・ヘッドコーチとしてアテネ・オリンピック出場
- 2012年 女子日本代表チーム専任ヘッドコーチ就任
- 2016年 女子日本代表チーム・ヘッドコーチとしてリオ・オリンピック出場

講演概要

皆さんご承知の通り、リオ・オリンピックではメダルを目標に戦ってきましたが、決勝トーナメント1回戦で世界最強のアメリカと対戦して敗れ、結果的にはベスト8という成績に終わりました。

本日は「リオ・オリンピック夢への道のり」と題して、女子日本代表チームについてお話をさせていただきます。

ロンドン・オリンピックに出場できなかった翌2013年、次のオリンピックへ向けてどのようにして強化を図るか、という目標を決めて女子代表チームのレベルアップに取り組みました。

その目標と夢に向けての強化項目は次の通りです。

- 1) チームの得点力向上の強化
得点する能力を伸ばして得点を伸ばすこと
- 2) 『個』の体力・技術の強化
選手個々の技術と体力をしっかりとつけ、精神的にも強くなること
- 3) 精神的に強い選手の強化
チームとしても選手としても国際大会で粘り強く戦えるようになること
- 4) 主軸選手の強化
オリンピックへ向けた4年間で、主軸になる選手をしっかりと鍛えること
- 5) 情報分析の強化
今や当たり前の情報収集と分析を確実に行うこと



日本では国内試合の日程から、代表チームに与えられる期間は3ヶ月間だけであることから、この短期間でチームを作って国際大会に出場しても、そう簡単に勝てるチーム作りは困難な状態です。したがって4年間とはいっても、短期間で選手やチームをいかにして強化するかが大きな課題なのです。

それゆえ代表チームの主軸になるような選手を徹底的に育てて行く計画を立てるとともに、強化期間以外でも選手が成長できるよう、母体チームのヘッドコーチに強化して頂きました。

更に、2012年からやってきたことは、オリンピックに出場するという夢に向かい、チームとして一つにまとまって進もうというスローガンを選手共々大きくかかげ、それに向かって努力を重ねるということでした。

女子日本代表チームのスローガン

- 1) 立ち向かう勇氣と力をつける
日本は世界各国と比べて身体的に小さいですが、速いという特性をもっています。しかし、単に速いだけでは世界に通用せず、その上に力強さが必要なのです。力強いということは身体的に強いことに加えて、精神的にも強くなければなりません。
身長が高い世界の選手、チームに立ち向かうには、それらと互角に戦う勇氣と、立ち向かう精神力が必要で、それらを養わなければ勝つことができません。
- 2) 乗り越える勇氣と力をつける
乗り越える力の最終目標には、勝利を勝ち取るという強い心構えと意志が必要です。勝負強い選手、勝負強いチームになるためには、技術と精神を追及するとともに、世界の強豪チームに対して、単に立ち向かうだけではなく、その困難を乗り越える勇氣と力をつけることが必要なのです。特に、競り合ったゲームでは勝負強い選手やチームにならないと勝つことは難しいのです。
- 3) 日の丸に誇りを持つ
日の丸の誇りは日本代表選手である限り、強い誇りを持って戦わなければなりません。大切なことは、日の丸を背負う誇りとプライドです。こり誇りとプライドがなければ、

立ち向かう力も、乗り越える力も達成することはできないのです。

日本代表選手、日本代表チームであることを忘れてはならない、最も重要な言葉です。

4) 勢いと挑戦

大きな大会で必要になるものに、勢いがあります。若い選手の勢いはチームを活気づけ、アウェーにおける戦いでそれは非常に大事なことであり、勢いと挑戦は重要なことです。

オリンピック予選となる2015年のアジア選手権大会、開催地は中国で、最大のライバルは中国でした。完全なアウェーの試合で、普通に戦ったのでは勝てないと思い、勢いと挑戦をスローガンに掲げ、シャンソンの本川、富士通の町田といった若い選手も採用しました。

5) 誇りと覚悟

オリンピック予選となるアジア選手権大会に、誇りと覚悟を持って臨むことを掲げました。それは、アジア選手権大会優勝2連覇と、リオ・オリンピック出場権獲得を達成するためと、我々の目標と夢、日本の目標と夢を実現するために、誇りと覚悟を持って戦うということでした。

以上のように目標を持ち、スローガンを掲げて努力した結果、まず2013年、43年ぶりにアジアで優勝することができました。このアジア選手権は世界選手権大会の予選も兼ねていましたが、予選を含め7戦全勝で、完全優勝でした。



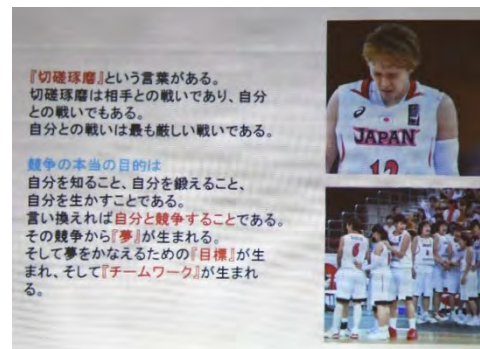
大会途中第3戦の韓国戦は、延長戦を制しての勝利、第5戦の中国戦も厳しい戦いでしたが、これを制したことが大きかったですし、選手やチームの粘り強さを感じました。それゆえか、決勝の韓国戦では我々のリズムで勝利することができました。

2013年から2015年にかけて選手は半分くらい入れ替わっていますが、チームの底上げには若い選手も必要な反面、選手選考で替わって出て行かなければならない選手のことを考えると、ヘッドコーチとしては相当辛い面もありました。

2015年の大会へ向けては、アジアで2連覇してオリンピックへ出場することを目標にしましたが、これは我々の目標であるのと同時に、日本全体の目標でもありましたので、当然のことながら、このことは選手にも厳しく植えつけました。

切磋琢磨という言葉がありますが、選手が目標に向かって切磋琢磨することを求め、自分との闘いを制することを求めました。競争の本当の目的は、自分を知って自分を生かし、最後には自分と競争することが夢につながるのだと、選手強化に努めました。更に、それらがチームとしての目標となり、チームワークがしっかりしていれば、やがて勝利につながることを教えました。

リオ・オリンピックアジア予選でも、前回同様一度も負けることなく優勝することができましたし、これがオリンピックにおける選手たちの自信につながったことは確かです。



予選リーグの中国戦で大接戦を演じ、最後に吉田が残り3秒でシュートを決めて僅差で勝利しましたが、これは自信と粘り強さの表れなのです。結果的に、再度対戦した決勝戦では中国に35点の差をつけて快勝し、我々の夢が達成できました。

このように、目標を実現し達成するには、それなりの努力が必要です。大きな目標を掲げ、それを公表することによって、そのことが決意につながり、その決意が熱意を生み出し、更に誇りにつながるのだと思います。

そして、多くの仲間たちと互いに励まし合い、支え合って目標を達成してこそ、その喜びを共有することができるのではないのでしょうか。



これまでオリンピックに出場することを夢とし、アジア制覇が目標だったのですが、リオ・オリンピック出場が決まってからは、世界を相手とする夢の実現を目標にしました。リオ・オリンピックに向けた準備として、もう一度強化する項目をおさらいしました。

- 1) チームの得点力向上の強化
- 2) 『個』の体力・技術の強化
- 3) 精神的に強い選手の強化
- 4) 情報分析の強化

具体的に掲げた強化項目でしたが、言い換えれば、それはオリンピックでメダルを取ることでした。ご承知の通り、予選ラウンド組み合わせAグループのうち、日本の世界ランキングは16位と最低でしたが、メダルを取ること为目标にして挑戦しようと決め、選手たちもそれに向かって努力することを誓ったのです。

このとき、私はメダルを取りに行こうという勇気と、自分たちが更に伸びるのだという決意を選手たちから感じ取り、選手が変わったなと感じました。

しかしながら、ここでも選手の入替えという、ヘッドコーチとして最も辛い局面に出会いました。結果的に3名の選手が入替わったのですが、努力に努力を重ねてオリンピックの座を勝ち取ったのにもかかわらず、本番のオリンピックに行けないという悲劇です。

しかしながら、いつの時点でも、その時に一番好調な選手を選出するという基本的な方針を崩すことはできず、敢えて選手の入替えを行いました。先に申し上げましたが、オリンピックでメダルを取ること、新たな目標に掲げた以上、どんなに辛くても現段階で最好調な選手を選ぶことを決断しなければならないのです。

リオ・オリンピックでは、予選ラウンドで3勝2敗のチームが3ヶ国となり、得失点差から日本は4位となって、決勝トーナメントで最強国アメリカと対戦して敗れたことはご承知の通りです。予選ラウンドのブラジルとトルコの試合で、リードしていたブラジルが

最終ピリオドの残り数秒で強引に攻めて得点できず、トルコに逆転勝ちされたことも残念でしたが、他国の試合のことをどうこう言っても仕方ありません。

しかし、格上のフランスやブラジルに勝ったことは評価できますし、世界ランキング2位のオーストラリアと互角に戦い、第3ピリオドで16点リードしたのですが、最後に逆転されて負けとなりました。このようにリオ・オリンピックで格上のチームに対して健闘したことは言うまでもありません。

最後に戦ったアメリカはあまりにも強すぎましたが、試合が終わった後、両チームが入り混じって集合写真に納まったことは、歴史的な出来事だと思っております。結果的に相当な点差で敗れましたが、平均身長で一番小さい日本が、一番高いアメリカに果敢に挑み、前半は互角に戦ったことに対する称賛だったのかもしれない。どこのチームとも相手チームと一緒に写真に納まるようなことはしなかったアメリカが、日本の健闘ぶりを称えてくれたのかと内心嬉しく思いました。



ここからは、リオ・オリンピック出場国とオリンピックにおける諸データを紹介したいと思います。

平均年齢と平均身長

身長は c m

チーム	平均年齢	平均身長	FIBA ランク
アメリカ	29.8	187.5	1
中 国	25.3	186.4	8
オーストラリア	27.3	185.2	2
スペイン	26.7	185.0	3
トルコ	28.2	184.5	10
カナダ	26.3	183.4	9
セルビア	26.7	183.3	14
ベラルーシ	30.1	183.3	10
フランス	26.7	182.5	4
セネガル	29.8	182.1	24
ブラジル	29.3	181.3	7
日 本	24.6	177.7	16

日本は年齢で一番若く、身長では一番低い。

平均得点と成功率（予選ラウンドのみ）

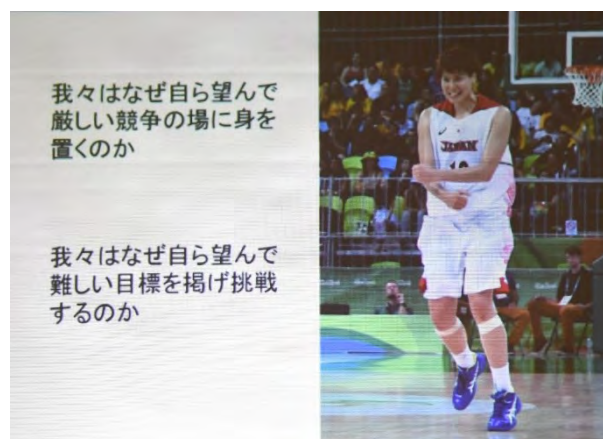
チーム	平均得点	成功数	シュート数	成功率%
アメリカ	104.0	40.4	70.0	57.7
オーストラリア	80.0	28.6	62.2	46.0
日 本	77.2	30.2	66.4	45.5
ベラルーシ	69.4	24.6	55.4	44.4
セルビア	77.0	28.4	65.2	43.6
中 国	74.2	27.6	63.8	43.3
スペイン	77.4	29.2	67.8	43.1
フランス	68.8	26.2	63.0	41.6
ブラジル	67.0	25.4	62.8	40.4
カナダ	68.0	25.2	63.4	39.7
トルコ	64.8	23.4	59.4	39.4
セネガル	61.8	22.2	56.8	39.1

日本はフィールドゴール成功率アメリカ、オーストラリアに次いで3位

3 P 成功率（予選ラウンドのみ）

チーム	平均成功数	成功数	3 P 打数	成功率%
アメリカ	6.8	34	80	42.5
中 国	7.4	37	94	39.4
ベラルーシ	6.8	34	88	38.6
日 本	7.0	35	91	38.5
オーストラリア	7.4	37	98	37.8
フランス	5.2	26	71	36.6
トルコ	5.0	25	70	35.7
スペイン	4.2	21	60	35.0
セルビア	6.6	33	95	34.7
セネガル	6.2	31	92	33.7
カナダ	5.4	27	81	33.7
ブラジル	3.6	18	73	24.7

日本は3 P 成功率 38.5%で4位



リバウンド数（予選ラウンドのみ）

チーム	オフェンス	ディフェンス	合計数
アメリカ	62	158	220
スペイン	74	141	215
ブラジル	67	137	204
フランス	73	124	197
カナダ	73	119	192
オーストラリア	51	134	185
ベラルーシ	36	141	177
トルコ	43	134	177
中 国	54	111	165
セルビア	50	111	161
日 本	33	113	146
セネガル	31	114	145

日本のリバウンド数は下から 2 番目

ターンオーバー数（予選ラウンドのみ）

チーム	合計数	1 試合平均
ベラルーシ	104	20.8
ブラジル	101	20.2
カナダ	87	17.4
フランス	87	17.4
セネガル	86	17.2
中 国	76	15.2
スペイン	74	14.8
アメリカ	73	14.6
オーストラリア	72	14.4
セルビア	67	13.4
トルコ	55	11.0
日 本	50	10.0

日本はミスが少なかった第 1 位



これ以外に個人のデータも出ていて、アシストでは吉田選手が 1 試合平均 8.5 本と、2 位以下の選手を大きく引き離してトップ、3 P 部門で日本の栗原選手が 3 P 成功率 51.1% で第 3 位、得点部門で日本の渡嘉敷選手が、1 試合当たりの平均得点 17 点で第 3 位になっています。渡嘉敷選手のシュート成功率は 49% でインサイドだけではなく中間距離のシュートなど、立派な成績だと思います。

以上 2013 年から 2016 年オリンピックまで、具体的な目標を決めスローガンを掲げて強化に励んできた経過と結果についてお話させていただきましたが、それらを具体的な数字で表したのが次の表です。

オフェンスにおける目標値

目標値と主大会	平均 得点	ゴール 成功率	3 P 成功率	2 P 成功率	フリースロー 成功率	平均アシス ト数
目 標 値	76	46%	39%	48%	83%	17
2013 A B C	74.7	43%	33%	46%	80%	16.1
2015 A B C	78.9	43%	32.1%	46.8%	61%	15
2016 リオ予選	77.2	45.8%	39.8%	47.9%	87.5%	18.8
2016 リオ全試合	75.0	43.4%	38.4%	45.4%	86.4%	18.5

上背がない日本にとって、3 Pシュートの成功率UPは大きなウェイトの一つですが、アジア選手権では少し目標を下回ったものの、リオ・オリンピック予選ラウンドではそれなりに目標値に近づきました。また、平均得点では2015年以降目標を達成しましたが、決勝トーナメントアメリカ戦において、徹底的に抑え込まれたことが、最後の値に影響しています。

やはりアメリカは本当に強いと感じました。ノーマークになると、どこのポジションからでも確実に得点しますし、ディフェンスにおいても、凄い勢いでブロックに行くというバスケットを見せられました。

最後に今日お話ししたことをまとめた動画映像がありますのでご覧ください。

映像は力をつけるため、徹底的な走り込みやウェイトトレーニングをはじめとする厳しいメニューをこなす代表選手たちの姿と、アジアで負けなしの2連覇を成し遂げた瞬間、そしてオリンピックにおいて世界の強豪国を倒した達成感あふれるものであった。

2020年の東京オリンピックへ向けて、希望あふれる女子日本代表が更に研鑽を積んで、今度こそ悲願のメダル獲得へ向かって挑戦して欲しいと願う。



交流会も賑やかに

講演会終了後に行われた交流会には、講師の内海氏をはじめメディアの方や振興会会員以外の方々も参加されて賑やかに開宴された。小澤副会長の挨拶と乾杯の音頭で始まった懇親会は、渋谷センター街理事長小野氏及び車椅子連盟専務理事小瀧氏からのご挨拶とともに、リオ・オリンピックの話題に花が咲いた。



渋谷センター街小野理事長
(バスケットボールストリート名付け親)



車椅子連盟小瀧専務理事

女子オリンピックが語るオリンピック（その2）

[歴史部]

前号に引き続き、2004年アテネ・オリンピックに女子日本代表として出場された選手から紙面アンケート方式で提出いただいた内容を、ご報告する。

2000年に開催されたシドニー・オリンピックに出場権を得られなかった日本代表が、8年ぶりに出場を勝ち取ったアテネ・オリンピック。8年前と比べ、ヘッドコーチが交替し、選手も12名中9名が入れ替わった。

競技方式は変わらず、12チームを6チームずつの2ブロックに分け、総当たりのリーグ戦の結果、上位4チームずつが決勝トーナメントに進む。日本代表は残念ながら予選ラウンドで1勝しか上げられず、順位決定戦へ進み10位という結果に終わっている。

アテネ・オリンピック出場者

<主なスタッフ> 役職、所属は当時のまま

役 職	氏 名	所 属
総 務	高橋 雅弘	ジャパンエナジー
監 督	内海 知秀	ジャパンエナジー
コーチ	梅寄 英毅	日立ハイテクノロジー
コーチ	萩原 美樹子	早稲田大学

<選手> 50音順、氏名、年齢、体重、所属は当時のまま

選手名	身長 c m	体重 kg	年齢 歳	所 属
楠田 香穂里	165	57	30	ジャパンエナジー
薮内 夏美	175	65	27	日本航空
大神 雄子	170	63	21	ジャパンエナジー
大山 妙子	173	68	30	ジャパンエナジー
立川 真沙美	171	61	23	ジャパンエナジー
矢野 良子	178	73	25	ジャパンエナジー
紺野 麻理	178	64	24	ジャパンエナジー
永田 睦子	178	73	27	シャンソン化粧品
川畑 宏美	181	72	25	ジャパンエナジー
濱口 典子	183	80	30	ジャパンエナジー
矢代 直美	182	70	26	日本航空
江口 真紀	184	73	25	シャンソン化粧品
平 均	177	68	26	

アテネ・オリンピック対戦結果

6 チームによる予選リーグ

チーム	スコア	チーム	備考
日本	62-128	ブラジル	
日本	79-73	ナイジェリア	大接戦を制す
日本	78-97	オーストラリア	
日本	71-94	ロシア	
日本	91-93	ギリシャ	アウェー戦

日本は1勝4敗、予選ラウンド5位

9・10位決定戦

チーム	スコア	チーム	備考
日本	63-82	中国	

以下、アンケートで取材を行った方々の回答です。

設問 アテネ・オリンピックへ出場された感想は？

濱口 出場できなかったシドニー・オリンピックがあり、8年ぶりの出場だったので非常に嬉しく、ほっとしたというのが正直なところです。SARS という伝染病が流行ってアジア予選が2度も延期になりました。国内の大会もあり体調管理が大変だったことを覚えています。アトランタでの経験もあり、大きなプレッシャーがかかることがわかっていましたので、後輩たちにそれを少しでも和らげられるようにとか、思い切りプレーができるように声をかけることを心掛けました。

藪内 本来なら中国で開催されるアジア予選が、SARS の影響で仙台開催となり、大声援を受けながらの出場決定で、とても嬉しかったです。オリンピックでは予選敗退となり残念でしたが、皆が同じベクトルで戦ったと思います。大山キャプテンは最後まで「チーム」を意識することを皆に伝え続けていました。

設問 オリンピックへ向けての練習量はどれほどだったですか？

岡里 具体的な時間は覚えていませんが、全体練習以外に個人のトレーニング時間が相当多かったと記憶しています。

藪内 基本は1日2回練習があり、それ以外に朝と夜、個人練習をやりました。内海HCは常により流れを意識した練習メニューを組んでいたように感じました。

設問 長丁場でモチベーションの維持をどのようにしてされましたか？

濱口 後輩たちにオリンピックの経験をつなぐこと！ そればかりを考えていました。

岡里 日本代表であるということ、自体がモチベーションでした。

藪内 モチベーションを維持する上でのプレッシャーは感じませんでした。どんな大会でもコートがあってゴールがあり、相手がいることに変わりはないと考えていましたので。

設問 楽しかったこと、つらかったことを教えてください。

濱口 毎日の練習をオリンピックの予選ラウンド決勝戦と思って練習に取り組みましたので、個人的には予選ラウンドの決勝を何度も味わえて楽しいと感じていました。しかし、アジア予選が2度延期となり緊張感をコントロールすることが大変でした。選手同士以外からは心遣いの言葉もなく、つらい思いもしました。それを乗り越えるために、選手間でわざと冗談を言い合って笑うことで克服したりしました。

薮内 8月に足の手術をしたので復帰できるかどうか、更には全日本の代表に選ばれるかどうか、とても不安でした。トレーナーの懸命なりハビリや、仲間のおかげで再びコートに立つことができ、嬉しかったです。

設問 チームメイトとの思い出や、プレーする上で大切にしていたことは。

濱口 延期などもあって、非常に長い予選の期間を楽しく過ごせたのは、長年一緒に過ごした仲間との日々があったからこそだと思います。大切なのは身長ではなくて、人間性だと思います。

岡里 大切なことはチームワークだと思います。

薮内 同級生の矢代とオリンピックで同じコートに立てたことはいい思い出です。昔は怖くて話もできなかった先輩たちと、チームとしての絆ができ、ガードとして限られたプレータイムでしたが、チームが必要とするプレーをすることによって、それが更に深まったように思いました。

設問 オリンピックで一番印象に残っている試合は。

濱口 ギリシャ戦で5ファウル退場・・・苦い思い出です。ジュニア時代から対戦していたブラジルの2mセンターが本当に強くなっていました。これまでずっと知っていた選手の成長がみられて嬉しく思いました。

岡里 ギリシャ戦です。完全アウェイの試合で、会場は地元の応援で埋め尽くされ、地鳴りのようにブーイングが鳴り響きました。

薮内 ギリシャとの試合。今まで経験したアウェイ戦の中で、最もアウェイ感を実感しました。相手への応援はまるで地響きがするように感じました。

設問 選手村の環境はいかがでしたか。

濱口 ヨーロッパ独特の気候の中、すごく快適に過ごせました。ただ、食事の味は日本の味とは似ても似つかないようなもので、少し苦労しました。

岡里 大きな団地のような雰囲気、施設内に公園もあります。食事は各国からシェフが来ていて、好きなブースで好きなものをチョイスできるスタイルでした。テーブルも自由なので、各国の選手と交流することもできました。トレーニングルームも共用でしたね。

薮内 食堂は24時間オープンで広く、日本人シェフがひじきを作ってくれました。外国人はやはりマックが好きなようです。言葉はわからなくても、会う選手にとにかく挨拶をしましたし、日本の他の競技の友達もできました。

[むすび] 完全アウェイともいえるギリシャ戦、選手たちはそれでも果敢に戦い僅差で敗れたが、これらの経験が後に彼女たちの活躍に役立てられたことはいうまでもない。

(完)

関東ゴールデンシニアバスケットボール連盟

設立・現状と今後の取り組み方

理事 諸山 文彦



振興会主催による全国シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI が毎年代々木第二体育館で開催されることに刺激されて、熟年プレーヤーの活躍の場を広げようと、関東の有志により関東ゴールデンシニアバスケットボール連盟が設立された。ここで初代会長に選任されたので、皆様にその設立の経緯と今後の取り組み方について報告する。

1. チームSOSへの参加から連盟設立への経緯

(1) 平成 24 年の横浜カップ大会に感激！！

平成 24 年 2 月 11 日(土)、12 日(日)に全国ゴールデンシニアバスケットボール第 1 回交歓大会横浜カップ(以下「横浜カップ」という)が、横浜西センター、平沼記念体育館で、10 チームの参加により開催された。

私の所属するSOS(STARS OF STARS)は、昭和 41 年に卒業した関東大学 1 部リーグ 6 大学の選手で構成され、平成 22 年 12 月 11 日に、現監督鈴木進吾氏が中心になって設立した、68 歳、9 名でスタートしたチーム。

1950 年代に早慶のOBが参加したSOSは、当時、非常に強かったチームとのことで、この名誉、歴史ある名称を頂いた我々も、昔取った杵柄、初戦ぐらいいは突破できると踏んでいたが、それは実に甘く、1 回戦の相手、大阪のシニアギャロップスに、15:42 で大敗。この時の落胆は大きく、平成 23 年、24 年と 2 年間勝利なし。「我々も勝ちたい」と涙を流した選手もいたほど。



当時のSOSメンバー

その 11 日夜に、中華街の同發本店で開催された懇親会では、選手、スタッフ、関係者約 150 名が参加し、歓迎挨拶、獅子舞の後、大いに飲み、大いに語り、肩を抱き合い、正に現役時代に戻った感じで大変感激した。ゴールデンシニア(以下「GS」という)の世界は、これ程までに強く、明るく、元気で、盛んなのか。

現在、日本の人口は、1 億 2700 万人、その内 26 パーセント、約 4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者で、今後益々、我々の仲間が増えてくる。また、日本の医療費概算は、41.5 兆円で、国民の健康寿命を延ばすことも重要な課題。

早速その夜、事務局担当の川戸氏とそのグループの増井、橋田氏からゴールデンシニアの現状を聴取し、日を改めて打合せを約束した次第。この火を消してはいけない！

一方SOSは、平成25年度から練習を月2回から4回に増やし、参加基準「6大学OB出身者」の枠を取り払う方針に変更したことにより、多くの優秀な選手が参加し、現在では、全国でもトップクラスのチームに成長している。

（２）連盟設立に向けて検討開始

横浜カップ終了後、4月に、川戸、増井、橋田氏と打合せを持った。

シニアのカテゴリー、GSの全国大会、地方大会等の活動状況はどうなっているのか等、シニアの現状に詳しい3名の意見を聴取し、近日中に連携の深い関係者で集まることを決めた。まだ、全国でも例のない、関東の連盟設立に向けた会議を6月3日に予定した。

連盟設立までの会議開催の経緯は以下の通り。

① シニアのカテゴリーは以下の通り

40歳以上：シニア

50歳以上：スーパーシニア

60歳以上：ゴールデンシニア

70才以上：プラチナ

② 説立会議の内容は以下の通り

第1回設立会議（発足会）

- ・日 時：平成25年6月3日
- ・参加者：川戸、増井、橋田、渡辺、諸山
- ・場所：川崎市駅前
- ・目的：加盟チーム間の親睦交流、健康管理、生涯スポーツ
- ・名称：（仮称）関東GS連盟に賛同
- ・調査：更に、全国のシニアの活動状況調査
- ・今後の活動：関東は、チーム間の連携も良いので、連盟設立に向けて、仲間に声を掛けて前向きに取り組むことを確認した。

第2回設立会議

- ・日 時：平成25年8月16日
- ・参加者：川戸、増井、橋田、渡辺、諸山
- ・場所：東京駅近辺
- ・内容：規約、役員、事業計画、参加チーム予想、全国のシニア活動状況等につき検討
- ・次回：参加が予想されるチームの代表者に参加を呼びかける。

第3回設立会議（設立準備委員会）

- ・日 時：平成25年10月11日
- ・参加者：川戸、増井、橋田、渡辺、鈴木、渡辺、内田、諸山
- ・名称：今回から連盟設立準備委員会に名称変更
- ・委員会：設立準備委員会の委員長・諸山 事務局・増井、川戸、橋田
- ・内容：参加チーム確認、名称、規約、役員体制、事業計画等検討
参加予定チームへの「設立準備委員会設立」の送付書面を確認
- ・次回：参加予定6チームの代表者の参加を確認した。
- ・10月31日：参加予定チームへ「設立準備委員会の設立について」の書面送付

第4回設立準備委員会（最終回）

- ・日 時：平成26年1月17日
- ・参加者：6チームの代表者
川戸、増井、橋田、渡辺、鈴木、渡辺、内田、奥田、狩野、諸山
- ・内容：規約、役員、事業計画、登録費等の内定、設立準備委員会解散、次回、平成26年度第1回理事会を開催、正式に連盟設立
4月19日第1戦終了後、レイクアリーナ箱根にて開催予定
- ・2月26日：会長名にて26年度関東GS大会参加申込書送付
役員名、組合せ表、収支予算書、前回議事録添付
参加チーム：駄馬、豊島VSOP、COKI-COKI、横浜ビーシーガルス
せんべらずゴールデン、SOSの6チーム

2. 連盟の設立と設立後の活動内容

【平成26年度】

① 1回理事会

- ・日 時：平成26年4月19日
- ・場 所：レイクアリーナ箱根
- ・内 容：規約、役員、事業計画、収支予算を決定し、連盟を設立、
審判、閉会式、懇親会内容確認
- ・大 会：6チーム1回総当りリーグ戦

② 2回理事会

- ・日 時：平成26年11月13日
- ・場 所：有楽町
- ・内 容：26年度収支予算、26年度表彰者、
27年度事業計画(案)、27年度収支予算(案)等検討

③ 3回理事会

- ・日 時：平成27年2月26日
- ・場 所：神田
- ・内 容：26年度最終戦績、27年度事業計画(案)、表彰者、派遣審判、
27年度第1回理事会の議題決定

【平成27年度】

① 1回理事会

- ・日 時：平成27年4月25日
- ・場 所：箱根成蹊寮
- ・内 容：27年度第1回理事会 26年度決算、
27年度事業計画(案)・収支予算(案)、27年度大会開催要項(案)決定
- ・大 会：6チーム1回総当りリーグ戦とトーナメントの開催
山梨、富士山静岡チームを招待しトーナメント開催
山梨チームのご尽力により富士吉田市で開催。成功裏に終了

② 2回理事会

- ・日 時：平成27年10月16日
- ・場 所：有楽町
- ・内 容：平成28年度事業計画 新理事とトーナメント戦組合せの決定

③ 3回理事会

- ・日 時：平成 27 年 2 月 26 日
- ・場 所：振興会事務所
- ・内 容：平成 27 年度収支決算(案)、平成 28 年度新理事の決定、
28 年度収支予算(案)・事業計画(案)検討、27 年度戦績報告

【平成 28 年度】

① 1 回理事会

- ・日 時：平成 28 年 4 月 23 日
- ・場 所：箱根成蹊寮
- ・内 容：28 年度第 1 回理事会 28 年度事業計画 {案}・収支予算(案)、
28 年度大会開催要項(案)決定
- ・大 会：今年度も、6 チーム 1 回総当りリーグ戦＋トーナメント開催
昨年度の山梨、富士山静岡チームに加えて小田原チームを招待し
9 チームでトーナメント開催
小田原協会のご尽力により南足柄市体育センターにて開催予定

平成 28 年度役員

会 長	諸 山 文 彦	(STARS OF STARS・東京都)
理 事 長	増 井 英 明	(せんべらずゴールデン・埼玉県)
副理事長	川 戸 政 角	(横浜ビーシーガールズ・神奈川県)
理 事	渡 辺 誠	(日本バスケットボール振興会)
〃	鈴 木 進 吾	(STARS OF STARS・東京都)
〃	渡 辺 時 雄	(Coki-Coki・千葉県)
〃	内 田 幸 治	(豊島区エバーグリーン V. S. O. P・東京都)
〃	奥 田 恒 男	(豊島区エバーグリーン V. S. O. P・東京都)
〃	橋 田 龍太郎	(駄馬・東京都)
〃	狩 野 治	(横浜ビーシーガールズ・神奈川県)
〃	小 澤 正 博	(日本バスケットボール振興会)
〃	川 上 勉	(せんべらずゴールデン・埼玉県)
〃	片 山 祥 二	(駄馬・東京都)

3. ゴールデンシニア大会の現状

〔全国大会〕

(1) 酒田市八幡カップ

・歴 史

平成 8 年に山形県八幡町で誕生。主催は各年開催都市の酒田市八幡カップ実行委員会。シニアの部（40 歳以上）は今年度で第 21 回を数えるが、今年度から 40 代と 50 代・60 代を切り離して大阪中央体育館で開催された。今年度の参加者は、①、②で 600 名の多きに及び、最も歴史のある大会である。

区 分	① 全国ゴールデンシニア交歓大会	② 全国スーパーシニア交歓大会
方 式	トーナメント	トーナメント
年 齢	60歳以上	50歳以上
参加チーム	21チーム	26チーム
競技方式	8分クォーター	8分クォーター
競技日数	3日間	3日間
大会数	第6回	第13回

(2) 横浜カップ

・歴 史

平成24年2月に第1回を開催、主催は横浜バスケットボール協会
来年は、2月に保土ヶ谷スポーツセンター、横浜文化体育館で開催予定

・方 式 トーナメント

・年 齢 60歳以上

・参加チーム 16チーム

・競技方式 8分クォーター、第2ピリオドはエンジョイタイム (エンジョイタイム：得点に関らず勝ったチームに1点付与)

・競技日数 2日間

(3) 全国シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI (男子)

・歴史

平成20年に開催以降、バスケットの殿堂、代々木第二体育館で開催
主催は日本バスケットボール振興会
男子は60歳以上、女子は50歳以上

・方 式 各チームリーグ方式で3回戦

・年 齢 60歳以上

・参加チーム 9～10チーム

・競技方法 8分クォーター

・競技日数 2日間

[地方大会]

(1) 関東甲信越地域

約13年前、埼玉県東松山市で、関東甲信越地域の大会を開催し、約10年間続いた。
そこに参加した埼玉、千葉、東京、新潟、神奈川の各チームが、各々、各地域に帰り、
越谷市、横浜市、東京都、水戸市等が大会、交流会等を開催し、地域大会が充実して
きたことにより、今般、関東GS連盟設立の礎になり、順調に推移した。

(2) 北海道地域

函館、札幌、旭川、帯広の4市が毎年、大会を開催

(3) 甲信越地域

山梨、新潟での交流

- (4) 東海地域
静岡、愛知地域で、交流戦の開催
- (5) 近畿地域
大阪、兵庫間で交流戦の開催
- (6) 中国地域
広島、岡山間での交流戦の開催
- (7) 九州・沖縄地域
平成 10 年に、第 1 回全九州シニアバスケットボール古伊万里大会が開催され、現在は全九州クラブシニアバスケットボール・スーパーシニア選手権大会として、シニアは 40 歳以上、スーパーシニアは 50 歳以上で、八幡カップの予選会を兼ねている。
主催は全九州シニアバスケットボール連盟。
60 歳以上は、沖縄・九州各々で交流試合を行い、八幡カップ、横浜カップの予選会を兼ねている。

4. 世界大会の現状

現在、把握している世界シニア大会の現状は以下の通り

- (1) シニアの世界大会開催計画
国際シニアバスケットボール連盟(FIMBA)のルーベン・ラマス会長は、10 月 20 日に、島根県の溝口善兵衛知事と会い、2018 年に松江市で、30 歳以上のシニア世界選手権を開催したい旨の協力要請をした。
1969 年にアルゼンチンで始まった同大会は、開催されればアジア初大会になり、大会には約 1000 人が参加し、FIMBA は年内に正式決定する予定とのこと。(2016 年 10 月 21 日 日本経済新聞掲載記事)
- (2) FIMBA WORLD LEAGUE ZADAR 2015 に参加
昨年のプラザ No. 66 に、横浜チームの山上久夫氏が「FIMBA WORLD LEAGUE ZADAR 2015 に参加して」の報告が掲載されているので、読まれた方も多いと思う。
この大会は、2015 年 4 月 11 日から 16 日までの 6 日間、クロアチアのザダル市で、FIMBA が主催した国際競技大会で、今回のカテゴリーは、男子が 35 歳以上 55 歳以上まで、女子は 30 歳以上 45 歳以上までで、何れも 5 歳刻みに分類されている。参加者があれば、男子は 75 歳以上が最高齢。今回の参加者は、11 名で関東 G S 連盟に所属する選手は 7 名、年令は 50 代が 1 人で、残りは 60 代。55 歳以上のカテゴリーに参加したため、年齢のハンディキャップがあったが、ディフェンス、リバウンドの戦い方によっては競った戦いが出来たとの感想あり。
- (3) ワールドマスターズゲームズ 2017 オークランド大会
ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズ協会(IMGA)が 4 年ごとに主宰する原則 30 歳以上のスポーツ愛好者であれば誰でも参加できる生涯スポーツの国際競技大会である。

オリンピックの翌年に開催され、第1回は1985年にカナダ・トロントで開催、来年の第9回大会はニュージーランド・オークランドの開催予定でサッカー、野球、テニス等による多くのスポーツが競技される。

2021年には、アジア最初の日本・関西で開催の可能性もある。現在の計画では4月24日に出発し、5月1日に帰国予定で、クロアチアに参加したメンバーが参加を計画している。

5. 今後の取り組み方

(1) 全国ゴールデンシニア大会の充実

現在のゴールデンシニア全国大会は、全国シニア交歓大会が5～6月、八幡カップが9～10月、横浜カップが2月にと、年間にバランスよく配置されている。

そのために、予選会を開催している地域もあり、今後、地域の大会、交流戦が、人的交流、融和を含めて更に充実・活性化されることを期待したい。

(2) 70歳（プラチナ）以上の試合開催

現在、全国シニア交歓大会、関東GS連盟によるゴールデンシニア大会では、70歳以上の試合も組まれており、今後、70歳以上の選手も増えてくるため、試合を企画することにより励みになると思われる。

(3) スーパーシニアとの連携

全国には、シニア、スーパーシニア、ゴールデンシニアの3カテゴリーを運営している同一組織体もある。選手にとっても継続することにより、体力の維持、強化に繋がり、怪我の予防にもなる。

今後、スーパーカテゴリーとの連盟も視野に入れていきたい。

(4) 関東ゴールデンシニアバスケットボール連盟トーナメント戦への参加要請

関東ゴールデンシニアバスケットボール連盟は、設立3年目に入り、トーナメント戦も2年目を迎えている。

我々も良い場の提供が出来れば喜ばしいことで、トーナメント戦に参加を希望されるチームがあれば、身近な理事に申し出て頂きたい。

[連盟会長・SOSチーム代表・横浜カップ顧問]



W J B L 斎藤会長を訪ねて

[編集部]

10月7日、Wリーグが開幕。リオ・オリンピックでベスト8に入った女子日本代表選手のプレーを見たいという観客などもいて、好調な出足を見せている。

振興会では開幕直前の10月6日、東京文京区のW J B L事務所を訪問し、新たに就任された斎藤聖美会長から、W J B Lの将来や運営上の問題点などについてお聞きすることができた。

斎藤会長は日本協会副会長も兼任されていて、マーケティングについてはベテラン。当日は斎藤会長とともに西井歳晴専務理事にもご出席いただき、友好的なムードの中で専門的なお話も伺うことができた。



斎藤会長

西井専務理事

振興会側出席者

小澤副会長、渡辺理事長、上谷副理事長、池田カメラマン

Q リオ・オリンピックで活躍した女子日本代表チームの全員がW J B Lの選手であり、予選ラウンドを勝ち抜いて決勝トーナメントへ進んだことについては

A 確かに素晴らしい結果を残してくれたと思います。願わくば、予選リーグのオーストラリア戦で勝利して決勝トーナメントの別な枠に入って欲しかった（オーストラリア戦は第3ピリオドまで日本がリードしていたが逆転されて惜敗）です。決勝トーナメントでアメリカ以外の対戦だったら、ベスト4もあったのではないかと考えています。選手はよく頑張ったと思います。今回の結果は、国内リーグの観客動員にも好影響をもたらしており、日本の女子バスケットボールが更に発展してくれるよう望んでいます。



Q リーグ戦開幕に向けては

A リオ・オリンピックの影響もあってか、J Xと富士通の開幕戦チケットは完売しています。各々にオリンピック選手がいて、高度なプレーに期待してのことと思いますが、W J B Lに所属する12チームを見てみると、日本代表選手がいないチームも多く、人気という点でこれらチーム間の試合の観客動員には少し不安もあります。

Q Bリーグが相当派手な開幕戦を演出しましたが、Wリーグは

A WJBLに所属するチームのうち9チームが企業チームであり、3チームがクラブチームというオープンリーグですが、リーグとしては従来の実業団でやっていた方式とさほど変わらずアマチュアリーグの形態です。運営に関しては、都道府県の協会に支えていただき運営している面もあり過度な演出は叶いません。
ただ、リオ・オリンピックでも活躍し、次の舞台は2020東京になりますので、いろいろな方法で盛り上げて行きたいと考えています。

Q B1リーグが5,000人収容の体育館という、アリーナを会場としていますが、WJBLはいかがですか

A 会場問題は大きな課題です。地方によっては男子と組み合わせたりする会場もありますが、男子はプロなので、興行的に一緒というわけにもいかず、観客の入替など難しい課題も抱えています。日本の場合、体育館の数はかなりありますが、試合を見せるという観点より、運動を行える場所的な施設が多いです。また、体育館やアリーナを使用する競技も多いため、ある程度観客を収容できる会場確保も大きな問題点となっています。
リーグ戦を開催していただける都道府県での体育館やアリーナ確保のご協力が、リーグ運営の根幹となります。



Q テレビをはじめとしてマスメディア対策は

A NHKをはじめとして、各放映局にお願いしていますが、民放の場合スポンサーが付きにくく苦勞しています。企業名を前面に出しているチームも多いので、スポンサーが付きにくい環境もあるようです。

Q 試合会場の全国展開は

A Bリーグはホーム・アンド・アウェーを実施することになりましたが、WJBLは設立以来、普及と強化を基本にしており全国各地で開催してきました。また、チームの所在地に偏りがあり、愛知県を所在地とするチームが5チームもあることから、ホーム・アンド・アウェーを実施することは難しい現状です。
ホーム・アンド・アウェーは、地域密着によるファン取込みも期待できますが、全国展開では、時として観客動員などに不安があります。
WJBLのチームが増え全国展開が可能になればいいのですが、資金面などいろいろな制約から、Wリーグに参加を希望する実業団や社会人の強豪チームがないのが現状です。

Q 外国人選手の再導入についてはいかがですか

A 賛否両論があります。いわゆる助っ人外国人の導入になりますが、興行と強化の両面で検討しなければなりません。興行面では効果が期待できると思いますが、強化の面で議論が分かれます。中国や韓国のリーグに外国人選手を採用していますが、センタープレーヤーが育っておらずナショナル・チームの戦力ダウンが見られるという意見もあります。助っ人外国人の導入は、2020東京での戦略も含めJBAの技術委員会と協同し検討しなければなりません。

Q これからの女子バスケットボールについて

A 国際的には渡嘉敷選手クラスの大型選手があと2～3名欲しいところです。180cm台の選手はいますが、他国の高身長選手と対抗するのは至難でしょう。最近は、どの国でも高身長でオールラウンダー型の選手が多くなっています。バスケットの競技人口は男女とも多いのに、なかなか優秀な長身選手が出てこない。アメリカのように各家庭や公園などいたるところにゴールリングが備えられていて、誰でもバスケットに親しめるような環境があったら良いと思います。やはり、子供のころから競技になじむことが必要で、それにより、更に競技人口を増やし第二、第三の渡嘉敷選手を発掘・育成できればいいですね。

Q 斎藤会長のバスケットボールは

A お茶の水女子高校のとき、畑先生にバスケットを教えていただきました。とても理論的な先生で、ルールについても詳しくかったですね。その後大学では同好会に入部しましたが、社会人になってからは、バスケットとの縁はありませんでした。仕事の関係でアメリカに5年程いましたが、NBAなど試合を見る機会はありませんでした。WJBLの中で競技的なことは西井専務理事に任せ、どちらかというとマーケティングや対外的なことに力を注いでおります。



【むすびに】

日本協会副会長兼WJBL会長ということで、相当長けたお方を想像して訪問したが、そこには素晴らしいビジネス女性でありながら、柔軟なムードを醸し出す優しい会長がおられた。

お話を伺っていくうちに、リオ・オリンピックを機会に、日本の女子バスケットボールを飛躍的に発展させたいという強い決意が伝わってきたように感じられた。

男子プロリーグとは別に、国際的に充分通用するようになった日本の女子バスケットボールリーグの観戦もお勧めしたい。



バスケットボール湘南だより（その 16） ◇◇オリンピックを終えて トップリーグ始まる◇◇

中瀬 達雄

◆オリンピック女子代表は大健闘◆

▽史上最高のメダルラッシュの陰になったが

先のリオ五輪、41 個の史上最多のメダルラッシュに沸いた報道では、女子バスケの予選リーグ 3 勝 2 敗の戦績もほとんどニュースにならなかった。しかし、海外の世界・アジア選手権まで応援に出かけた女子バスケ通の筆者から見れば、女子バスケチームの今回の活躍ぶりは特筆すべきものと言ってよい。たしかに、1976 年のモントリオール五輪で第 5 位と言う戦績が残っているが、このときは、女子が初めての種目で参加 6 チームだったし、オリンピック初登場ということで、世界の女子バスケの普及が今一つだったこともあったと言える。

▽バスケ通の見る人は、ちゃんと見ているよ

アフリカ代表に唯一勝っただけのアテネでの第 10 位から見れば、アフリカ勢の入らない世界ランク上位相手の予選リーグでの 3 勝は、8 位ではあるが中身は本当に大健闘と言ってよい。何とも残念なのは、前回 2 位のオーストラリアに 4 ピリで 16 点もリードしながら大逆転負けを喫したことである。内海コーチが精一杯やっていることはわかっていながら、何とか打つ手がなかったのかと愚痴も出た。大健闘の要因は色々あろうが、日本協会などからやや軽視されながら、1993 年から日本リーグの外国人出場を排しての地道な強化活動が実ったものだろう。

▽もっと積極的に評価し、皆で更に応援してあげよう

残念なのは、これだけの成果を上げながら、その健闘ぶりが国内で報道されなかったことである。バスケット関係(者)の中にあっても、もう少し高く評価され、処遇されてしかるべきではと考える。この結果を土台として、今後も更なる強化活動を続け、東京オリンピックではメダルに届く夢をぜひとも実現して欲しい。



壮行ゲーム（小田原）

◆トップリーグの行方はどうか◆

▽初日は盛り上がっていたが・・・

F I B A の資格停止に始まった J B A の新体制づくりの目玉は、何と言っても両トップリーグの統一だった。日本バスケの強化についても注文が付いたが、弱ければ世界レベル大会に出場できないだけで、「余計なお世話」であろうと思う。

力の入れようは、B リーグ初日の派手なオープニングイベントでわかるが、たしかに、第 1 週の平均入場者 4200 人は昨年 の 2 倍になり、幸先良いスタートとなった。

▽1ヶ月経って観客は3割減ったが・・・

問題はこれがどこまで持続するかで、ほぼ一ヶ月たった10月第4週の観客数を整理してみた。第5節18ゲームの観客数平均は2850人で、第1週の68%であることがわかった。この数字は昨シーズンのものより多いが、ビジネス採算ラインを考えると先行きが心配になる。2部、3部をプロチームとして見ると、さらに厳しい状況であるとも言えよう。

▽ただ楽しければよいのか

トップリーグの使命は「強化と普及」と言われているが、4年後の東京五輪への強化は間に合うのだろうか。観客数が代表チームの強さに直結するわけではないだろうし、外人選手が中心のリーグ戦で、日本代表チームのセンターは大丈夫なのだろうか。外人排除の女子代表の例がそのままあてはまるわけではないだろうが、まずは長期的な強化方針を確立して貰いたいものである。

◆田舎の秋シーズンも始まるが・・・◆

▽幼児とシニアを組み合わせ

10月1日(土)、平塚総合体育館では、「シニア籠球まつり」で年配プレイヤーのゲームが続く中、幼児体験イベントが行われた。バスケット界は、ミニ連、中体連、高体連、学連、クラブ・実業団・ママ連盟の横割り組織とこれらを統括する地域協会が取り仕切っている。こう見ると、シニアと幼稚・保育園児に対してのバスケット活動を担当する組織・人材は不在である。多くのメダリストたちの話を聞くと、幼児時代から活動されている。

「(幼児)⇒ミニ⇒中学⇒高校⇒クラブ⇒シニア(ママ)⇒幼児親⇒ミニ親⇒ミニ指導者」というバスケ人生サイクルが、バスケット界を支えているのではないか。欧・豪では、このパターンが、一つのクラブの中で成立しているが、3年ごとに寸断されている日本の(学校)システムの中でどうやっていくのか。

▽バスケットがサッカー方式でできるのか？

前号でも指摘したが、新体制のJBAは協会の強化・普及事業の基本動作をサッカー界のやり方に見習おうとしている。オリンピックでメダルに絡んでいるのは殆ど個人種目で、チームスポーツで話題になるのは、世界でのマイナースポーツである野球・ソフトボールであろう。サッカーでさえメダルに絡むには相当遠いと言わざるを得ない。

そのサッカー・野球は、たしかに学校スポーツすなわち部活動から飛び出して地域のクラブスポーツに活動・強化の場を移行しつつある。この2種目とバスケットボールとの違いは、競技施設にあり、原っぱや広場があれば活動できる種目と、屋根がありゴールが付いていなければ練習できないものとの違いがある。殆どの施設が学校にあり、部活動に使われている現実を忘れるわけにはいかない。

この辺りをどのように克服して学校外クラブを推進しようというのかがわからない。少なくとも湘南地方では、体育館を思うように使えてクラブ方式でバスケット活動ができる環境があるとは思えない。

[平塚バスケットボール振興会代表、元日本協会・日本実業団連盟理事]



尾張名古屋に 4 校リーグあり（その 1）

三谷 千尋

最近の東海地区における高校バスケット界のレベルは、60 年以上昔の私達の裸足のバスケットの時代（昭和 20～30 年代）とは、比べようもないほど向上した。特に、女子は昭和 40 年代から全国レベルの活躍をするチームが目立ち始め、男子も近年は全国で常に上位に入る力を付けたチームが台頭している。全国的には年 3 度の大会で、「秋田には、58 回優勝の N 工業高校あり」、「愛知には、60 回優勝の O 学園高校あり」と言われるように、皆様よくご存知の、その名を長い歴史に刻んで来た高校チームの活躍は有名である。

しかし、このような華やかな現在の高校バスケットの世界とは別に、年 1 度の大会で連続「67 回」その灯を消すことなく、静かに無私無欲で其の交流を楽しむ活動が続けて来ている高校バスケットの世界が尾張名古屋にあることを、今回は連載（その 1～その 3）で紹介させて頂きたい。

はなしは戦争直後の昭和 23 年（1948）の学制改革に伴う新制高校の発足、男子校と女子校の統合（男女共学）及び学区制の導入の時に遡る。その頃、愛知県立第一中学校のバスケット部のメンバーは、旭丘高等学校とその校名を変えて、県下での優勝を目指し、活動が続けていた矢先であった。通学区制の導入により、メンバーは、その居住地によって以下の 4 つの高校へ分かれて通学することを余儀なくされ、県下で一位となる夢を目前にして絶たれた。

愛知県立旭丘高等学校（旧愛知県立第一中学校、旧名古屋市立第三高等女学校）

愛知県立明和高等学校（旧愛知県立明倫中学校、旧愛知県立第一高等女学校）

名古屋市立向陽高等学校（旧名古屋市立商業学校、旧名古屋市立第二高等女学校）

名古屋市立菊里高等学校（旧名古屋市立第二商業学校、旧名古屋市立第一高等女学校）

優勝目前のメンバーにとって、突然の分散別離はしのぶに耐え難きものがあり、メンバーは、翌昭和 24 年 4 月に早速、四校への分散を記念して「4 校リーグ」と称する対抗戦を立ち上げ、叶わなかったその夢を後輩たちに託したのである。昔は、東京府立一中、愛知県立一中、神戸市立一中と言われたように、各県下の一中と名がつく所は、勉学・スポーツ共に盛んであり、戦後もしばらくその気運が続いていた。

当時、体育館があったのは菊里高校だけであったため、体育館でバスケットをしたいからと、住所を寄留して菊里高校に転校したメンバーもいたようである。その成果もあってか、その年、菊里高校は県下で優勝を果たした。この学区制が敷かれていた時代は寄留は当たり前のように行われ、私が昭和 28 年～31 年に在籍した明和高校でも、クラスの 1/3 は寄留入学者であった。しかし、当時バスケットをするために寄留したと言う話は初めて聞いたので、さすがと感心したものである。

この様にして始まった4校リーグであるが、当初の思い出ばなしは、大御所の精園智彦先輩の手記を添付するので、これをご覧頂きたい。この手記によると、昭和24年（1949）に第1回大会を開催したとある。今年は平成28年（2016）であるから、第68回大会となるべきであるが、何故か第67回大会ということになっており、1つ回数が合わない。何処かで開催できなかった時が1年あったのか、事務局の記録にミスがあるのか調査中である。

[明和高校、昭和31年（1956）卒（79歳）]



2009年8月10日中日新聞



4校リーグ表彰式

『添附資料一 明和高校バスケットボール部 OB/OG 会誌 第1集 昭和59年より』

「第1回4校リーグ（昭和24年-1949-春）が開催される」

愛知県立明和高等学校 昭和25年卒（1950）精園智彦（OB会初代会長 85歳）

4校リーグの35周年（これは明和高のバスケットボール部の35周年でもある）を記念して、創立当初のことを何か書いてくれとの依頼を受けたが、何と言っても古いことなので、記憶が正確でない部分もあり、自信が無いが、思い出すままに当時の状況を記すことにする。

明和高のバスケットボール部が、本格的に活動をし始めたのは、昭和24年の4月も半ば過ぎた頃であった。其の年行われた学制改革で、学区制が導入され、旭丘高、明和高など

各学校から集まった選手の寄合所帯として発足した。今でこそ立派な体育館があるが、当時は自分達の手で造った砂ぼこりの立つコートしかなく、また、バスケットシューズを履いている者も少なく、大部分は裸足で練習を始めた。雨が降れば練習が出来ないから、数少ない屋内体育館のある東海高や菊里高への練習試合を名目に押し掛けて行って練習した。

4校リーグも又、この時期学制改革の中から生まれた。学区制になる前、愛知代表の座を争っていたのは、旭丘高の前身の愛知一中と惟信中であり、昭和21年の代表は愛知一中であったが、22、23年は惟信中が代表になった。そして、24年こそはと旭丘高が猛練習を続けて居り、実際選手層も厚く、優勝候補の筆頭の呼び声も高かった。しかし、24年から実施された学区制の導入で、各選手はそれぞれの居住地に近い高校へ強制的に転校させられた。其の時、選手たちが分散したのが、旭丘高、菊里高、向陽高、明和高の4校と言うわけである。これだけでは、未だ4校リーグは始まらない。旭丘高でコーチをやっていた先輩が優勝のチャンスを目の前にしながら、散り散りになる選手の心情を思い、又これら4校の親睦と切磋琢磨を期待し、永年の悲願達成の夢を4校に託して、各校のメンバーに働き掛け、その開催を呼び掛けた。そして、旭丘高の大先輩でもあった田中三郎氏に4校リーグの主旨を話したところ、優勝盾の寄贈を受けることが出来、大会は目出度く開催の運びとなった。その後、最近になり（昭和59年-1984のこと）、今も尚4校リーグの続いていることを大変喜ばれ、てこ入れされたのを契機に表彰の内容も改善されて、大会は一段と盛り上がっていると聞く。

第1回の4校リーグは昭和24年の春、未だ車道（クルマミチ）にあった菊里高の体育館で男女4校が集まり、リーグ戦を行った。4校の実力は愛知県のトップレベルにあり、4校リーグの優勝校が愛知代表になるといった感じで、白熱したゲームを展開した。この時は旭丘高、菊里高、明和高が2勝1敗の同率であったと記憶している。24年度の愛知代表は、結局主力選手の転校が一番多かった菊里高のものとなった。明和高はこの時準決勝で菊里校と顔を合わせ、死闘を演じた。菊里校の長身センターがコートの上で転倒し、足を痛めて退場、これが故意に足を引掛けた、引掛けないでエキサイトする場面もあるなど、昔一緒に練習した仲であるだけに、遠慮のないやり取りから、正に骨肉の争いを展開したが、最後は菊里高の選手層の厚さの勝利であった。

それから苦節5年、昭和29年度、明和高が念願の愛知代表になる訳であるが、今思ってみても、あんな砂埃の立つコートの中の練習から、よくぞ愛知代表チームが生れたものと感無量のものがある。選手諸君の並々ならぬ努力のたまものであろう。其れから暫く明和高の黄金時代が続いたと思うが、詳細は当時の選手諸君の手記に委ねることとし、それぞれの世代を担って選手たちが築き上げた明和高の歴史、伝統の中から現役諸君が何ものかを学び、受け継ぎ、これからの明和高をよりよいものへ発展させてくれることを念じつつ筆を置く。

（その2）に続く

Bリーグ開幕

[編集部]

新たに発足した完全なプロ運営のBリーグが、9月22日開幕した。TVでご覧になった方も多いと思われるが、開幕戦は代々木第一体育館で、LEDを敷き詰めた光演出のコートで華々しく行われ、多くのファンやマスコミから注目を浴びた。

これで、これまでの男子国内2リーグが統一され、数多くの試合があちこちで展開される。プロ運営であるBリーグ（B1、B2）においては、チームという呼称はなく、すべてクラブと称するとともに、クラブ名に企業名がなくなり、地域名が含まれる点が特徴的。

したがって、すべてのクラブが存在する地域と共に、ホームアリーナ（体育館）を確保しての戦いとなる。

リーグはB1リーグ18クラブ、B2リーグ18クラブが各々の地区に分かれてリーグ戦を行い、それぞれの成績によってプレーオフに進出する仕組み。これまでプレーオフと言えば上位における順位決定戦だったが、下位における順位決定戦も開催されるところが目新しい取り組みとなっていて興味深い。

以下に各地区クラブと、競技方式ともいえるフォーマットについて掲載する。

[B1リーグ]

ホームアリーナ：そのクラブのホームゲームの80%以上を開催するアリーナをホームアリーナとする。

<東地区>

クラブ名	所在地とホームアリーナ
レバンガ北海道	北海道札幌市 北海きたえーる
秋田ノーザンハピネッツ	秋田県秋田市 CNAアリーナ秋田
仙台89ERS	宮城県仙台市 カメイアリーナ仙台
栃木ブレックス	栃木県宇都宮市 ブレックスアリーナ宇都宮
千葉ジェッツ	千葉県船橋市 船橋アリーナ
アルバルク東京	東京都渋谷区 代々木第二体育館

<中地区>

クラブ名	所在地とホームアリーナ
サンロッカーズ渋谷	東京都渋谷区 青山学院記念館
川崎ブレイブサンダース	神奈川県川崎市 とどろきアリーナ
横浜ビー・コルセアーズ	神奈川県横浜市 横浜国際プール
新潟アルビレックス	新潟県長岡市 シティホールプラザアオーレ長岡
富山グラウジーズ	富山県富山市 富山市総合体育館
三遠ネオフェニックス	愛知県豊橋市 豊橋市総合体育館

<西地区>

クラブ名	所在地とホームアリーナ	
シーホース三河	愛知県刈谷市	ウィングアリーナ刈谷
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	愛知県名古屋市	愛知県体育館
滋賀レイクスターズ	滋賀県大津市	ウカルちゃんアリーナ
京都ハンナリーズ	京都府京都市	ハンナリーズアリーナ
大阪エヴェッサ	大阪府大阪市	府民共済SUPERアリーナ
琉球ゴールデンキングス	沖縄県那覇市	沖縄市体育館

[B2リーグ]

<東地区>	青森ワッツ	<中地区>	東京エクセレンス
	岩手ビッグブルズ		アースフレンズ東京Z
	山形ワイヴァンズ		信州ブレイヴウォリアーズ
	福島ファイヤーボンズ		Fイーグルス名古屋
	茨城ロボッツ		西宮ストークス
	群馬クレインサンダーズ		バンビシャス奈良

<西地区>	島根スサノオマジック
	広島ドラゴンフライズ
	香川ファイブアローズ
	愛媛オレンジバンキングス
	熊本ヴォルターズ
	鹿児島レグナイズ

[フォーマット] (競技要項)

1. B1・B2リーグ戦フォーマット

- ① 自地区 6 回戦総当たり + 6 試合 (任意に選ばれる自地区内の 3 クラブと 2 回戦) / 他地区 2 回戦総当たり (合計各クラブ 60 試合)
- ② リーグ戦終了時点で、勝率が高いクラブを上位とする。同勝率の場合は、以下の順序により順位を決定する
 - (1) 当該クラブ同士が対戦したゲームの勝率が高いクラブ
 - (2) 当該クラブ同士が対戦したゲームの得失点差が多いクラブ
 - (3) 当該クラブ同士が対戦したゲームの平均得点が高いクラブ
 - (4) リーグ戦全日程における得失点差が多いクラブ
 - (5) リーグ戦全日程における平均得点が高いクラブ
 - (6) 抽選

2. Bリーグチャンピオンシップフォーマット

- ① Bリーグ各地区の 1・2 位クラブ合計 6 クラブと、残り 12 クラブのうち上位 2 クラブが出場
- ② トーナメント方式で行い準々決勝、準決勝は 2 試合、決勝戦は 1 試合。3 位決定戦は行わず、準決勝敗退クラブを 3 位とする

- ③準々決勝、準決勝が1勝1敗となった場合、前後半5分ずつの3試合目を当日行う。
(特別ルール)

それでも勝敗が決定しない場合は、5分の延長時限を勝敗が決まるまで行う

- ④決勝戦が同点の場合は、5分の延長時限を勝敗が決まるまで行う
⑤準々決勝、準決勝はリーグ戦における上位クラブのホームにて開催し、決勝戦は中立地にて開催する

3. B 2 プレーオフフォーマット

- ①B 2 リーグ各地区の1位クラブ3クラブと、各地区の残り15クラブのうち上位1クラブの合計4チームによるトーナメント方式で行う
②準決勝は2試合、決勝戦と3位決定戦は1試合
③準決勝が1勝1敗となった場合、前後半5分ずつの3試合目を当日行う(特別ルール)
それでも勝敗が決定しない場合は、5分の延長時限を勝敗が決まるまで行う
④決勝戦および3位決定戦が同点の場合は、5分の延長時限を勝敗が決まるまで行う
⑤準決勝は、リーグ戦における上位クラブのホームにて開催し、決勝戦および3位決定戦は中立地にて開催する
⑥1・2位クラブはB 1 リーグへ自動昇格、3位クラブはB 1 リーグ下位から3番目のクラブと入れ替え戦を行う

4. B 1 残留フォーマット

- ①B 1 リーグ全18クラブのうち下位4クラブが出場
②トーナメント方式で行い、1回戦は2試合方式、勝ったクラブ同士が1試合対戦する
1回戦敗退クラブは、B 2 リーグへ自動降格となる
③1回戦が1勝1敗となった場合、前後半5分ずつの3試合目を当日行う
それでも勝敗が決定しない場合は、5分の延長時限を勝敗が決まるまで行う
④1回戦を勝ち上がったクラブ間の試合が同点の場合は、5分の延長時限を勝敗が決まるまで行い、勝利クラブが下位から4番目、敗退クラブは下位から3番目の順位となる
⑤1回戦はリーグ戦における上位クラブのホームにて開催し、勝ち上がったクラブ間の試合は中立地にて開催する
⑥下位から3番目のクラブはB 2 リーグ3位のクラブと入れ替え戦を行う

5. B 1・B 2 入れ替え戦フォーマット

- ①B 1 下位から3番目のクラブがB 2 リーグ3位クラブと1回戦の入れ替え戦を中立地で行う
②ただし、B 2 リーグ上位3クラブがB 1 クラブライセンスの交付判定を受けられなかった場合は、自動昇格または入れ替え戦の結果に左右されない場合がある

6. 外国籍選手のルールは次の通り (B 1・B 2 とも)

- ①各クラブの帰化選手の登録数は1名以内
②各クラブの外国籍選手および帰化選手の登録数は合計3名以内
③帰化選手の出場は次の通り
外国籍選手がオンザコート0の時間帯：帰化選手の出場可

外国籍選手がオンザコート 1 の時間帯：外国籍選手 1 名と帰化選手 1 名の出場可
 外国籍選手がオンザコート 2 の時間帯：外国籍選手と帰化選手を合わせて 2 名以内の出場可

帰化選手の定義：満 16 歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手

外国籍扱いしない選手：日本国籍を持たないが、日本で出生または出育し、日本の中学校を卒業して義務教育課程を修了した選手（JBA 基本規程を適用）

7. B 1 におけるオンザコート外国籍選手の出場

- ① 1 試合でオンザコート総数 6 名が上限、延長時限はオンザコート 2 名
- ② 各クォーター 0 ～ 2 名の範囲内でクラブごとに設定
- ③ 試合前に申請し、対戦クラブ間で共有

8. B 2 におけるオンザコート外国籍選手の出場

- ① 1・3 クォーター 1 名
- ② 2・4 クォーターと延長戦 2 名

[その他]

- ・ 試合のルールについては、特別ルールを除き FIBA ルールによって行われる。
- ・ B 1 のチャンピオンシップに出場できるクラブは、各地区上位 2 クラブで合計 6 クラブ。8 チーム制なので残り 2 クラブは、地区を問わずリーグ戦における成績の上位クラブとなる。
- ・ B 2 の残り 1 クラブについてもリーグ戦における成績上位クラブとなる。
- ・ 各開催地における入場料金は、そのホームクラブが任意に設定できる。中立地の入場料金は本部で決める。
- ・ 観客動員数の目標は、B 1 全体でシーズン 170 万人、1 試合平均 3,000 名以上でこの目標が達成される（現在、西地区のクラブが観客動員に苦戦している）。
- ・ 審判員で現在プロの方はいない。また、各試合のコミッショナーは置いていない。
- ・ オフィシャルは開催地の都道府県協会に依頼し担当していただく。
- ・ 各試合のスタッツは、東京で映像を見ながら作成する。

[TV 放映]

全体的にこれまでより多く放映があり、地方を含む NHK 地上波放映や、NHK・BS で放映がされていて、すでに終わった放映数は、NHK 地上波 7 日間、NHK・BS でも 7 日間。B 1 のリーグ戦で 11 月以降の放映予定は NHK・BS 1 で下記の通り。

放映日	対戦カード	アリーナ	放映開始 予定時間
12 / 2 (金)	仙 台 VS 琉 球	カメイアリーナ仙台	19:00
12 / 9 (金)	北海道 VS 名古屋	北海きたえーる	19:00
12 / 10 (土)	A 東京 VS 京 都	代々木第二体育館	14:00

12 / 16 (金)	A東京 VS 北海道	代々木第二体育館	19 : 00
1 / 27 (金)	仙 台 VS 京 都	カメイアリーナ仙台	19 : 00
2 / 4 (土)	大 阪 VS 栃 木	府民共済 SUPER アリーナ	19 : 00
2 / 17 (金)	三 河 VS 北海道	ウイングアリーナ刈谷	19 : 00
2 / 18 (土)	秋 田 VS 横 浜	CAN アリーナ秋田	14 : 00
3 / 3 (金)	仙 台 VS 川 崎	カメイアリーナ仙台	19 : 00
3 / 11 (土)	A東京 VS 大 阪	代々木第二体育館	15 : 00

[終わりに]

Bリーグの定款、規約規定、ライセンスなどについては、それらのすべてがBリーグホームページ上に公表されているので、詳しく知りたい方はネットを参照いただきたい。

URL <https://www.bleague.jp/>

上記ホームページでは、各クラブの成績、選手、スタッツなども公表されているので、閲覧することをお勧めする。

Bリーグの理事については前号でお知らせしているので省略するが、日本の男子バスケットボール強化発展を左右するリーグでもあることから、万全の運営と健全な発展を望む。

そして近い将来、男子日本代表がアジア代表としてオリンピックや世界選手権に常時出場できるよう、強化についても全面的に支援していただきたいと願う。

9月22日から開幕したBリーグは、2017年6月まで長期間におよぶシーズンを戦うが、どのクラブともこれまで以上の試合数となり、特にホームにおける試合は各々の地域で開催されるので観戦するのにことかない。

また、プロとして長期間試合が続くことからクラブや選手個々の技術力アップも期待されるが、一方で体力面やケガなどによる離脱も心配される。



2016-17 Wリーグ中間成績

[編集部]

10月7日に開幕したWリーグは、12チーム2回戦総当たりのリーグ戦真最中だが、少しずつチームの成績が見えてきた。首位を走るのは、昨年の覇者JX-E NEOSとトヨタ自動車で、11月13日現在で負けなし。次に、富士通、シャンソン、デンソーが2敗で追いかける展開。トヨタ紡績と三菱電機はそこそこの成績だが、その他のチームは苦戦を強いられている。

特に、下位チームのアイシンAW、新潟、山梨については上位チームとの格差がかなりあって、今のところ全敗。日立、羽田は2勝をあげたが負け数が10となって厳しい状況。

総当たりリーグ戦の結果、上位4チームがプレーオフ・セミファイナルへ進んでトーナメント戦が行われるが、プレーオフ進出をかけて上位チーム同士が戦う試合は熾烈なものがあり、興味深い。

また、リオ・オリンピックに出場した各選手が、国内リーグでどのようなプレーを見せるのかも注目される。



以下に11月13日現在の星取表を掲載するが、紙面の都合でチーム名を次の通り省略表示する。

正式チーム名	省略チーム名	本拠地
JX-E NEOS サンプラワーズ	J X	千葉県柏市
富士通 レッドウェーブ	富士通	神奈川県川崎市
シャンソン化粧品 シャンソン Vマジック	シャンソン	静岡県静岡市
デンソー アイリス	デンソー	愛知県刈谷市
トヨタ自動車 アンテロープス	トヨタ自動車	愛知県名古屋市
トヨタ紡績 サンシャインラビッツ	トヨタ紡績	愛知県刈谷市
三菱電機 コアラーズ	三菱電機	愛知県名古屋市
アイシン・エイ・ダブリュウイングス	アイシン	愛知県安城市
羽田 ヴィッキーズ	羽 田	東京都大田区
日立ハイテク クーガーズ	日 立	茨城県ひたちなか市
新潟 アルビレックス BB ラビッツ	新 潟	新潟県新潟市
山梨 クィーンビーズ	山 梨	山梨県甲斐市

2016-17 Wリーグ・レギュラーシーズン 星取表

(11月20日現在)

チーム	JX-ENEOS	富士通	シャンソン	デンソー	トヨタ自	トヨタ紡	三菱電機	アイシン	羽田	日立	新潟	山梨
JX-ENEOS (14勝0敗)		○76-61 ○72-59				○86-36 ○81-58		○83-50 ○74-52	○104-53 ○90-42	○91-45 ○93-49	○109-38 ○103-50	○70-37 ○69-63
富士通 (12勝2敗)	●61-76 ●59-72					○73-65 ○73-50		○87-64 ○82-64	○70-51 ○76-58	○85-60 ○81-50	○85-54 ○82-63	○90-55 ○95-46
シャンソン (12勝2敗)				○80-61 ●68-71		○70-51 ●65-72		○91-60 ○78-50	○89-41 ○77-48	○76-71 ○70-66	○95-50 ○83-43	○83-59 ○80-54
デンソー (11勝3敗)			●61-80 ○71-68			●68-69 ○85-77		○68-67 ●60-73	○76-56 ○94-63	○82-59 ○81-61	○97-63 ○82-69	○83-59 ○80-54
トヨタ自動車 (14勝0敗)						○72-59 ○73-60	○65-63 ○78-75	○76-69 ○61-58	○73-56 ○70-57	○78-50 ○59-39	○98-52 ○75-64	○79-49 ○64-47
トヨタ紡織 (5勝9敗)	●36-86 ●58-81	●65-73 ●50-73	●51-70 ○72-65	○69-68 ●77-85	●59-72 ●60-73		●69-80 ○75-68	○65-57 ○68-64				
三菱電機 (11勝3敗)					●63-65 ●75-78	○80-69 ●68-75		○78-60 ○81-60	○95-60 ○101-71	○84-62 ○68-44	○72-65 ○85-57	○84-57 ○77-59
アイシンAW (1勝13敗)	●50-83 ●52-74	●64-87 ●64-82	●60-91 ●50-78	●67-68 ○73-60	●69-76 ●58-61	●57-65 ●64-68	●60-78 ●60-81					
羽田 (2勝12敗)	●53-104 ●42-90	●51-70 ●58-76	●41-89 ●48-77	●56-76 ●63-94	●56-73 ●57-70		●60-95 ●71-101					○75-64 ○77-57
日立 (2勝12敗)	●45-91 ●49-93	●60-85 ●50-81	●71-76 ●66-70	●59-82 ●61-81	●50-78 ●39-59		●62-84 ●44-68			○67-57 ○68-58		
新潟 (0勝14敗)	●38-109 ●50-103	●54-85 ●63-82	●50-95 ●43-83	●63-97 ●69-82	●52-98 ●64-75		●65-72 ●57-85			●57-67 ●58-68		
山梨 (0勝14敗)	●37-70 ●63-69	●55-90 ●46-95	●48-84 ●55-94	●59-83 ●54-80	●49-79 ●47-64		●57-84 ●59-77		●64-75 ●57-77			

12月21日はバスケットボールの日

[編集部]

1895年、アメリカ・マサチューセッツで誕生したバスケットボール競技。今年も誕生した日を祝おうと、全国で記念行事が繰り上げられる。

「12月21日はバスケットボールの日委員会」が、東京代々木第二体育館だけではなく、全国で記念行事をと呼びかけたところ、何らかの形でお祝いの行事を開催する機運が少しずつ広まってきた。

振興会では、この「バスケットボールの日」に開催される行事について、当初から後援を行ってきた。今年も代々木第二体育館で開催される諸行事について後援する。

東京では今年12月14日に代々木第二体育館で、この「バスケットボールの日」を記念して様々な行事が行われる。

従来通り参加者によるチーム分けをして、一日中バスケットボールの試合を開催のほか、バスケットボール競技誕生からその歴史に関する資料の掲示、講演なども行われる予定。

参加する方は参加費1,000円を払えば、代々木第二体育館で試合ができ、賞品として洒落たグッズなどがもらえる。

時間の都合がつく方は、是非、当日代々木第二体育館へ出かけて、1日、バスケットボールを楽しんでみてはいかが。

全国行事開催日と開催地

12月 4日（日）	香川県高松市
12月10日（土）～11日（日）	秋田県能代市
12月14日（水）	東京都渋谷区 代々木第二体育館 10：00～
12月17日（土）～18日（日）	鹿児島県鹿児島市
12月17日（土）	埼玉県越谷市
12月18日（日）	埼玉県蓮田市
12月18日（日）・23日（金）	岡山県岡山市
12月中旬	宮城県気仙沼市
12月中旬	宮城県南三陸町志津川
12月23日（金）	兵庫県神戸市
12月25日（日）	長野県松本市

※委員会メンバーとスタッフの募集

「バスケットボールの日委員会」では、この記念すべき日の行事を検討する委員会メンバーと、12月に行われる代々木第二体育館のバスケットボールの日イベント行事を手伝ってくださるスタッフを募集しています。

ボランティア活動ですが、幅広いバスケットボール愛好者との交流の場にもなっております。メンバーは不定期に東京都内でミーティングを開催していますので、参加したい方はお気軽に下記へご連絡ください。

連絡先メール bbinfo@bb1221.com

または、振興会事務局 まで

環境省ひと涼みアワード2016

優秀声かけ賞 高齢者部門 受賞

[総務部]

環境省が主管する熱中症予防事業に振興会が貢献したことに対して、今年度は「優秀声かけ賞」高齢者部門の表彰状を、昨年の「優良声かけ賞」スポーツ部門に続き、授与した。

振興会は、この受賞に下記コメントを提供している。

『振興会では毎年、代々木第二体育館で男子60歳以上、女子50歳以上の年齢の選手を200名以上集め、交歓大会を開催しています。

「熱中症予防には、こまめな水分補給が大切である」と説明し、参加選手を通じて「熱中症予防プロジェクト」が全国のシニアバスケットボール選手に広まるよう願っています』

これを励みとして、これからもこの声かけプロジェクト活動への参加を続けていきたい。



声かけ賞 高齢者部門

民間団体 特定非営利活動法人 日本バスケットボール振興会

●バスケットボール 交歓大会にて啓発

国立代々木競技場にて開催したバスケットボール交歓大会にて啓発。
※男性60歳以上、女性50歳以上で構成された13チーム・193人が参加。

バスケットボール交歓大会の様子

事務局だより

◇ご寄付の御礼

本年度も下記の方々から会費以外に多大のご寄付を賜り、誠に有難うございました。誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。
(理事長)

ご寄付を賜った方々（敬称略、50音順）

阿部 進	大野龍一	小笠原義昭	小澤正博	黒川敏雄
黒川純子	榊原みどり	佐藤精孝	佐室有志	杉山絹枝
都崎修男	寺田生男	徳永寿美	並木 浩	宮崎和子
山崎博明	吉田公子			

◇第10回全国シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI

平成29年度の大会は、代々木第二体育館の工事の隙間を縫って次の日程で開催できることとなりました。平日開催ですが、出場を希望されるチームは準備のほどをお願いいたします。

詳細はプラザ2月発行号にてお知らせします。

開催日程 平成29年5月15日（月）～16日（火）

◇事務局連絡先（火曜日、木曜日） TEL/FAX 03-3219-9311
MAIL sinkokai@jbbs.jp

.....

お詫び



吉田俊彦さん

前71号の38頁「会員だより」で、吉田俊彦さんの顔写真が間違っていました。お詫び申し上げますとともに、正しい写真をここに掲載いたします。

編集部

プラザ こぼればなし

- ◇ 女子日本代表はリオ・オリンピックで好成績を上げ、次の東京での活躍が期待されているが、男子日本代表の影が薄い。最近、男子強化の声が聞こえてこないが、東京オリンピックを目標として、ここ1～2年で世界を相手にできるチームが作れるのだろうか。短身者集団の日本代表が世界で通用するには、チームプレーでフリープレーヤーを作り、確率よいシュートで対抗する以外あるまい。世界の上位チームに日本代表選手の個人プレーが通用するとは思えない。日本協会は、日本代表ヘッドコーチの意見を聴き、代表候補選手を召集してチームプレーを徹底させ、海外遠征を行って多くのゲームを経験させることが必須と思われる。これには、Bリーグの運営責任者および所属クラブも、是非協力してほしい。
- ◇ 最近の男子日本代表選手を見ると覇気に欠けていると感じる。リオ・オリンピック女子日本代表チームの内海ヘッドコーチが、振興会主催の講演会で、チーム強化の一つに「精神力」を挙げている。サッカーではハルルホジッチ監督が「日本代表選手は上品すぎる、もっと攻撃的になってもらいたいと思う」と言っている。最近のBリーグの試合を観戦しても、日本代表となって欲しい選手の「絶対勝ってやる」という気概を持った強気のプレーが見せてもらえていない。選手諸氏の発奮を期待する。
- ◇ 男女ともにトップリーグが開幕されているが、力の差が大きいチーム同士で点差が開き、興味を削ぐゲームが多い。女子はシーズン後半で、上位・下位にグループ分けされるので多少は救われるようであるが、男子はどうであろうか心配である。トップリーグは少数精鋭の例えば8チームほどでホーム・アウェイだけでなく北海道から沖縄まで全国で魅力あるゲームを展開すべきではなかろうか。日本代表選手を擁するチーム同士の魅力ある激戦を多くの地区で催すことは、選手同士の切磋琢磨と全国的な観客動員に結びつき、収入面にも貢献すると思うが如何。
- ◇ Bリーグが開幕して2か月余り、B1の場合、観客動員数の動向をみると、平均で3000人以上を動員しているチームは約半数で、明暗が出てきた。人気を盛り上げるためには、試合会場の演出の工夫も重要であるが、観客に興味を持たれる選手個々の成績が即時に表示されることも重要である。特に得点、反則、リバウンドなどのスタッツが事件発生で即時に掲示されることは、ファンの期待にこたえる一つの重要な道なのではないだろうか。最近の電子技術を用いた情報掲示設備の早期実現に期待する。

NPO法人
日本バスケットボール振興会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-40
豊明ビル 301号室
電話／FAX (03) 3219-9311
メール sinkokai@jbbs.jp



野菜・食材だけでなく 白髪染めも安心なものを

植物原料100%から生まれた
自然派の白髪染め&トリートメント

化学の力に頼らず安心して白髪を染めることが出来る。
自然界には天然の色素を持つ植物が沢山存在します。
ヘナがその代表的な植物であり、天然の染色力を持っただけでなく、素晴らしいトリートメント効果をあわせ持ちます。頭皮と髪を傷めずに美しく艶やかに染められるのが大きな特徴です。

白髪染め + 潤い・ツヤ + ハリ・コシ



グリーンノートヘナ・ヘナスーパー

オレンジブラウン ...1500円+税
ライトブラウン・ナチュラルブラウン ...1600円+税
スーパーブラウン（早染め） ...2200円+税

オーガニータ（エコサート認証ヘナ）

ビターオレンジ・ノンカラー ...1800円+税
サハラブラウン・アースブラウン・ディープブラウン ...2300円+税
ノンカラー ...1600円+税

株式会社 グリーンノート ☎ 03-3366-9701 詳しくは公式サイトをご覧ください ▶▶ <http://www.henna.co.jp>

横浜中華街 世界チャンピオンの肉まん

皇朝点心舗



1個100円(税込)

※各種お土産取扱店

楽R天
YAHOO! JAPAN
第1位 第2位

世界チャンピオンの肉まん
WORLD CHAMPION
NIKKEI プラス1
なんでもランキング



皇朝レストラン

ぐるなび
2017年最優秀
食べ放題レストラン部門で
栄冠を手にした
第1位 第2位

時間無制限!

食べ放題

120種以上 1,990円~ (税込)
※点心飲茶



王朝 (担担麵)



中華街初、こだわり健康担々麺! 特製ツカメ練り込み麺使用の担々麺をはじめ、
お料理 50 種以上、麵・ご飯 20 種以上、お酒 20 種以上をご用意!





BASKETBALL STREET

渋谷センター街では、スポーツ振興と青少年の健全育成を基本理念に、国際色・ファッション性を考え合わせ、メイン通りの名を「バスケットボールストリート」とし、2012年 秋にはシンボルとなるモニュメントも設置いたしました。

5年10年と時をかけて、、、
この「バスケットボールストリート」通称「バスケ通り」
を定着させていきたいと考えています。



バスケットボール ストリート



渋谷センター街